

林業にいがた



2022

No.832

★
目
次
★

| | |
|---------------------------------|---|
| 森林・林業この人 | |
| 『枝打ちシステム』の普及を願う | 2 |
| 木の生かし方・使い方 | |
| 地元の林業活性化への取組みについて | 3 |
| 県からのお知らせ | |
| 「林業労働安全衛生セミナー」と「にいがた県産木材大賞」について | 4 |
| 森林研究所より | |
| タブノキの生残に寄与する根鉢のサイズ | 6 |

新潟県農林公社です！

| | |
|-------------------------|----|
| 「地上レーザースキャナOWL（アウル）の導入」 | 8 |
| 人と緑のものがたり | |
| 山仕事のスペシャリスト | 10 |
| 間伐と林業経営の歩み（林業×気候変動） | 11 |
| 新設住宅着工状況 | 12 |

『枝打ちシステム』の普及を願う

大源太農園 清水 守



枝打ちした杉林の様子

私は、地元の役場を五〇歳の時に早期退職して大源太農園を立ち上げ、今年六三歳になりました。退職当時はやる気があったので、杉林の手入れや野菜・山菜の栽培等いろいろなことに挑戦しました。その中でも杉の枝打ちには、特に情熱を傾けてきました。当時の枝打ちは、ハシゴを使うか、昇柱器とランヤードを使うのが一般的でした。私もこの装備で枝打ちをして、「ヒヤッ」としたことが何回もありました。当時、亡き父が植えた何百本もの杉の枝打ちをやるうと考えていたので、道具さえ揃えれば、誰でも安全に出来る「枝打ちシステム」を作ろうと思いました。枝打ちをしていると、近所



杉林床の行者ニンニク

の方から栗や桜の伐採を頼まれることが多くなって来たのですが、どうしても登って枝を落とさなければ倒せない木がありました。そのときロープを使って枝落としをするツリークライミングに出会いました。その後、杉の枝打ちにもツリークライミングを取り入れました。ツリークライミングの導入により落下する心配が無くなり、心に余裕が出来て、枝打ちも安心して作業が出来るようになりました。作業後の降下もロープを使うことにより、体力を使わずスムーズに出来るようになりました。難点は、道具のほとんどが外国製なので高価なことです。これから枝打ちをやるうと思っている方は、



枝打ち作業

ぜひ農園に来て、この「枝打ちシステム」を実際に体験していただきたいと思います。（道具はお貸しします。）今後も大源太農園のユーチューブやホームページを介して、全国に「枝打ちシステム」の普及に努めて行きたいと考えています。身体が動くうちに、父が植林した杉林の手入れをやってしまおうと頑張っていますが、悲しいかな現状では間伐しても、材を販売する手立てがありません。そこで出来るだけ高くまで枝打ちをして、多少混んでいても、林床に光が届くような杉林作りをします。残りの人生、元気に動けるうちは、父が残した山林の手入れを続けて行きたいと思っています。